

世界が 懸念していること

2023年6月



GAME CHANGERS



世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査は、世界29カ国でいま最も重要な社会的・政治的問題に関する世論を追跡し、10年以上にわたるデータをもとに最新のスコアの背景を考察するものです。

この**グローバルサマリーレポート**では、世界中で最も懸念されていることを、自国の物事が正しい方向と間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意識と共に紹介しています。

各国および各問題の調査結果の内訳は、www.ipsos.comでもご覧いただけます。

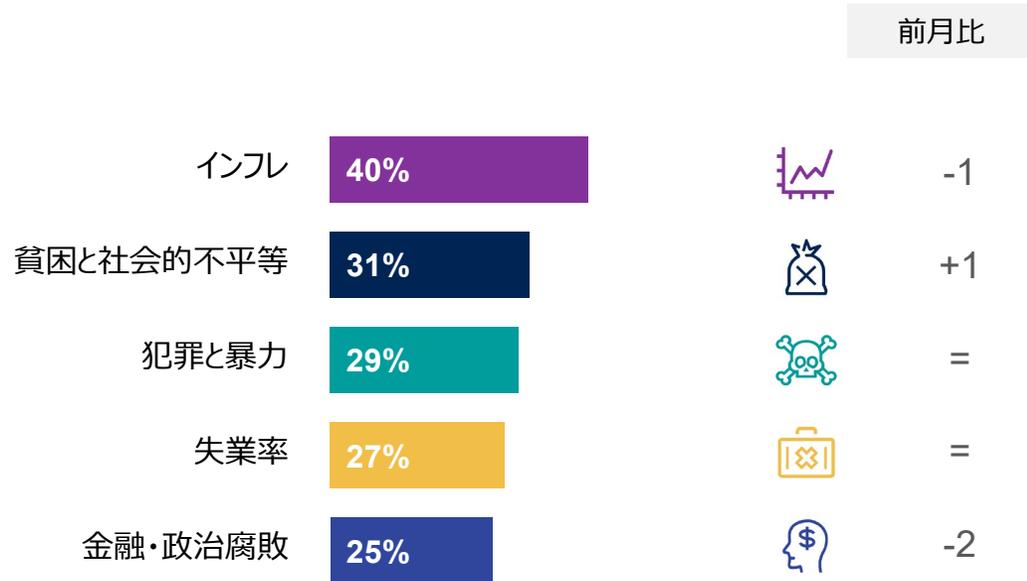
詳細は、Teodros.Gebrekal@Ipsos.com までお問い合わせください。



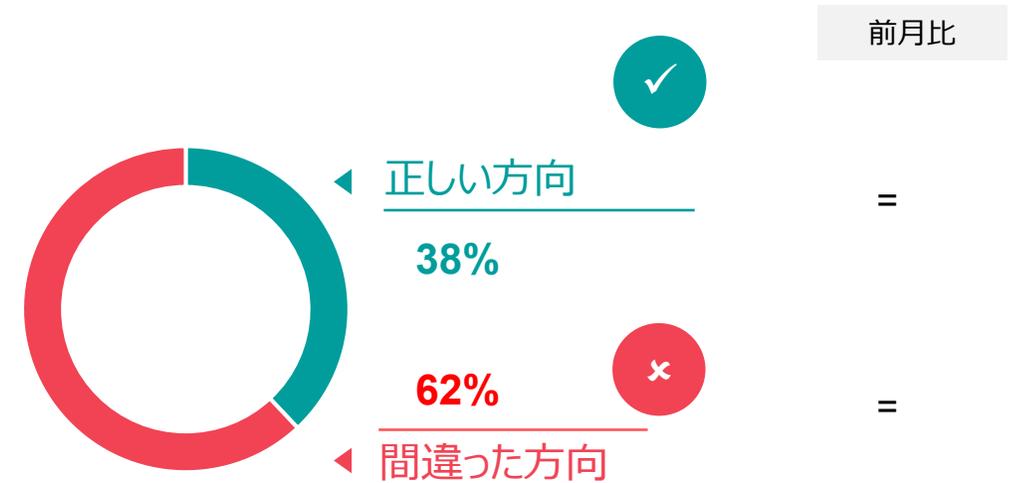
世界が懸念していること 2023年6月

「世界が懸念していること」調査では、インフレが15カ月連続で世界の懸念事項のトップとなり、今月は1ポイント減の40%となっています。貧困と不平等に対する懸念は、過去1年間で最低だった先月から1ポイント増と、わずかに増加しました。金融・政治腐敗は2ポイント減少し、5番目に大きな懸念に後退しました。正しい方向／間違った方向の割合は今月も変わりません。

Q 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思うものを3つ選んでください



Q 一般的に言って、この国の物事は正しい方向に向かっていると
言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言える
でしょうか



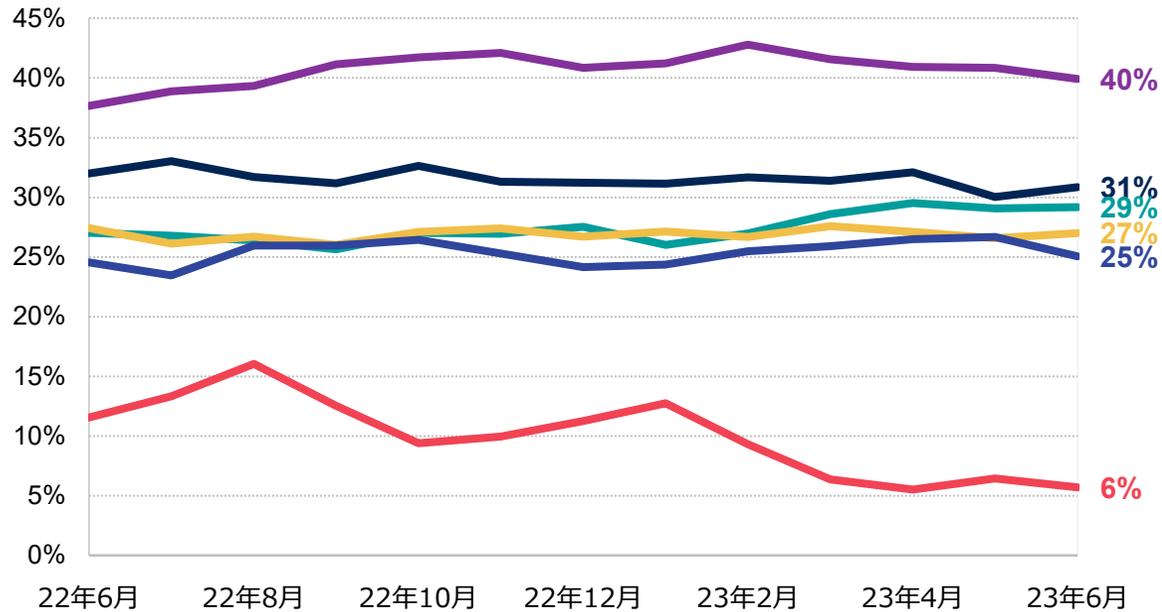
ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、21,310人。2023年5月26日～2023年6月9日調査。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

3 © Ipsos | What Worries the World

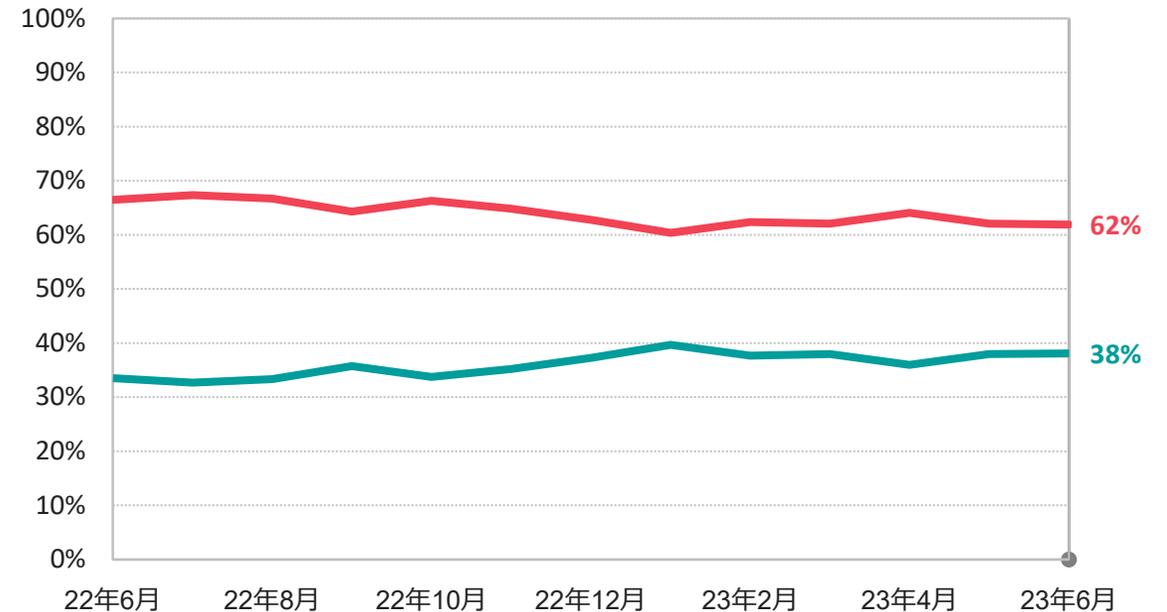
フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日

世界が懸念していること 12カ月のトレンド

Q 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思えるものを3つ選んでください



Q 一般的に言って、この国の物事は正しい方向に向かっていけるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか



■ 正しい方向性 ■ 間違った方向

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、21,310人。2023年5月26日～2023年6月9日調査。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

4 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日

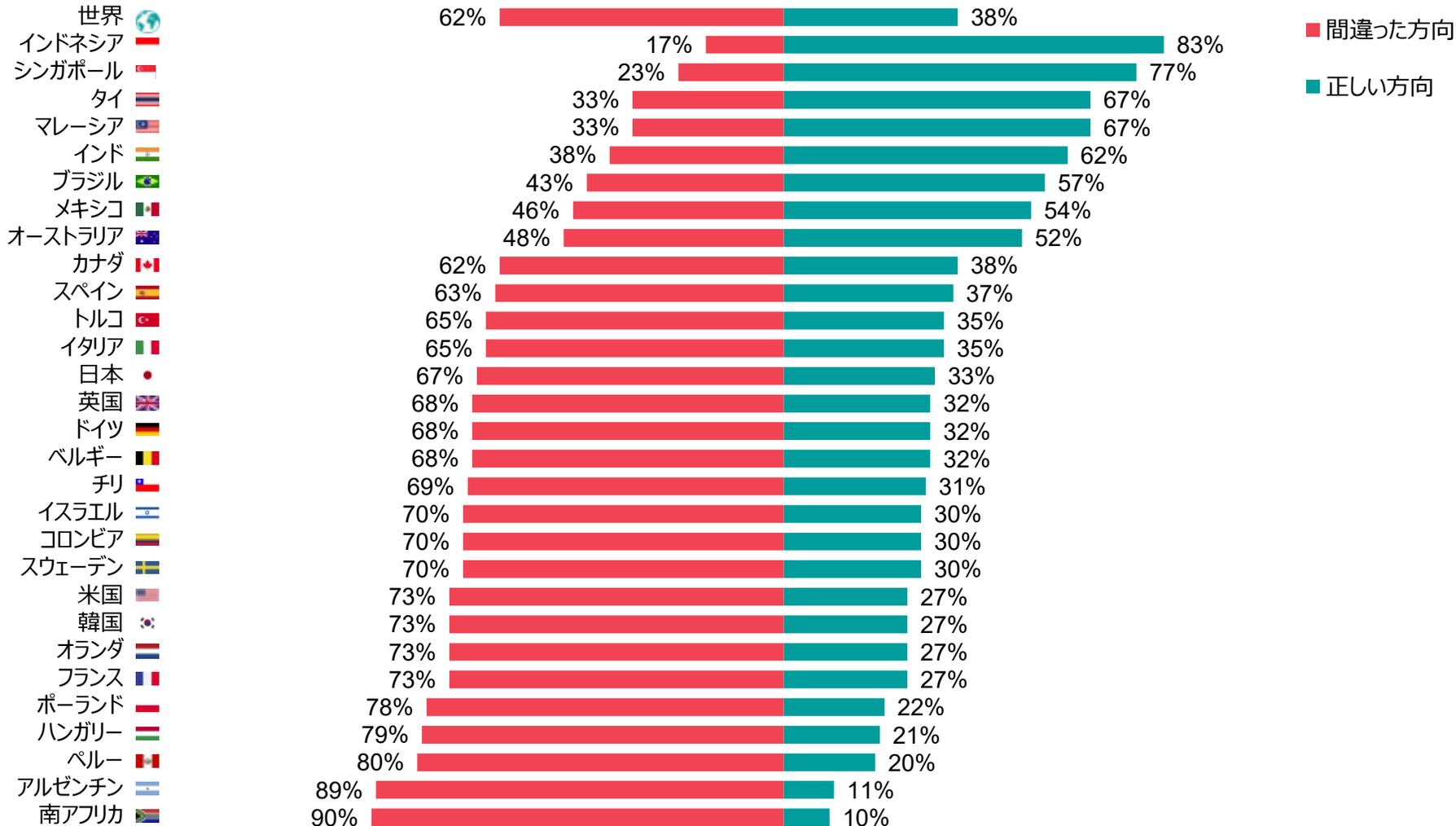


進んでいる方向 全29カ国



正しい方向 vs. 間違った方向 追跡モニター

Q この国の物事は正しい方向に向かっていけるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか（2023年6月）



世界のほぼ10人に4人(38%)が、自国は正しい方向に進んでいると考えています。自国が間違った方向に進んでいると考えている人は62%で、先月と変わりません。

アジア太平洋諸国は依然として最も楽観的で、上位5カ国を占めています。しかし、シンガポールは「正しい方向」が7ポイント減少し、首位から後退しました。

先月のアルゼンチンは特に厳しい月でした。6月には、アルゼンチンにおける「正しい方向」の割合は3ポイント増え、若干の改善が見られます。

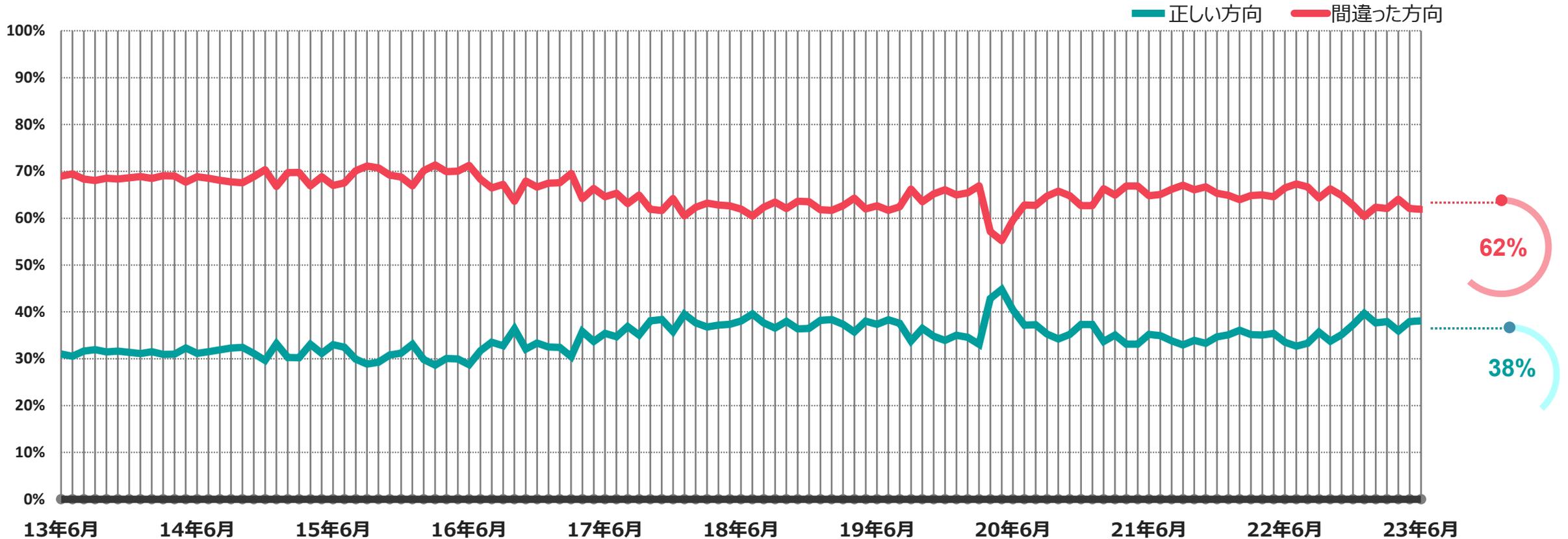
英国もやや楽観的になり、今月は「正しい方向」が4ポイント増えました。今年に入り、英国は1月の24%から徐々に「正しい方向」が増え、現在では32%に達しています。

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、21,310人。2023年5月26日～2023年6月9日調査。
 出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。
 フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



世界：正しい方向／誤った方向

Q この国の物事は正しい方向に向かっていると言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか（世界各国平均スコア）



ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、21,310人。2023年5月26日～2023年6月9日調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



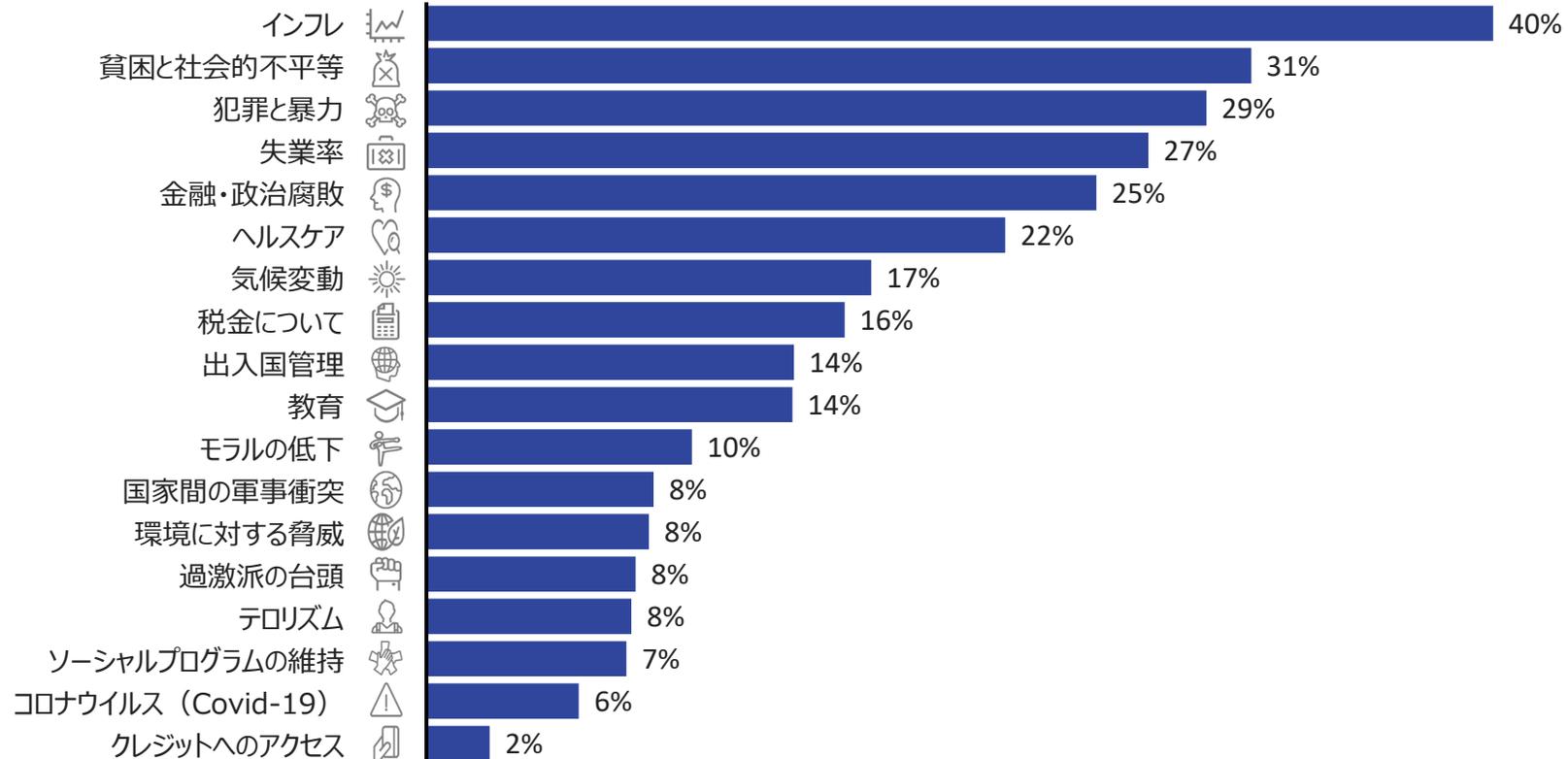
世界が懸念していること ランキング上位の懸念



世界の懸念事項：全18項目

Q 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思つたものを3つ選んでください

2023年6月の回答（世界各国平均）



インフレが最大の懸念材料となって15カ月目に入りました。今月は40%が、自国に影響を及ぼす三大懸念のひとつと回答しており、前回より1ポイント減りました。

反対に、貧困と社会的不平等は1ポイント増え、31%となっています。

金融・政治腐敗は、先月は4番目に大きな懸念事項でしたが、今月は2ポイント減って25%で、5番目になっています。

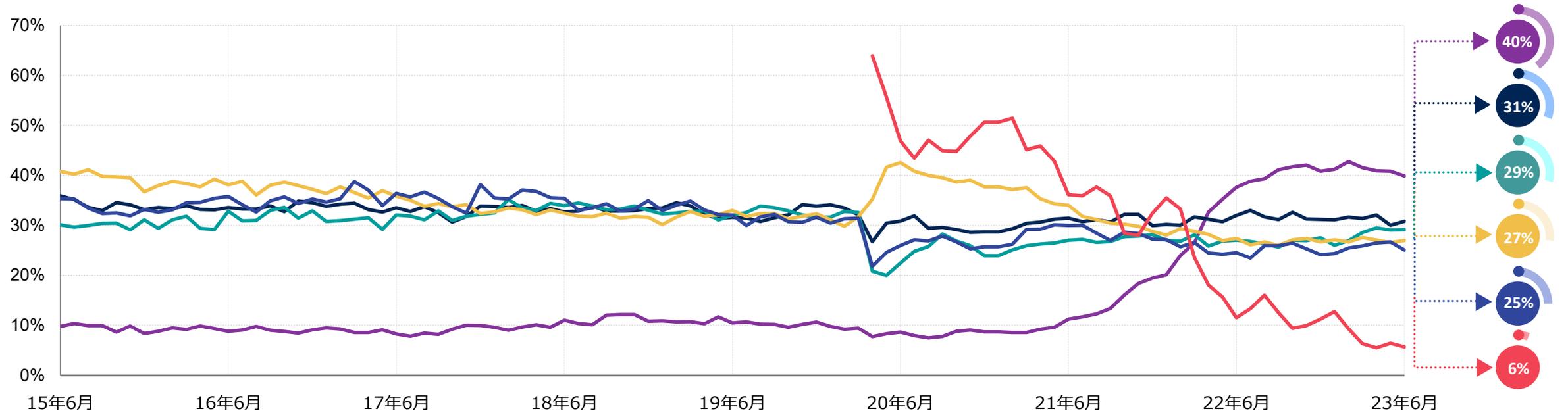
コロナウイルスは引き続き17番目の懸念事項で、過去最低の6%にとどまっています。

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、21,310人。2023年5月26日～2023年6月9日調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期トレンド

Q 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思えるものを3つ選んでください



インフレ



貧困と社会的不平等



犯罪と暴力



失業率



金融・政治腐敗

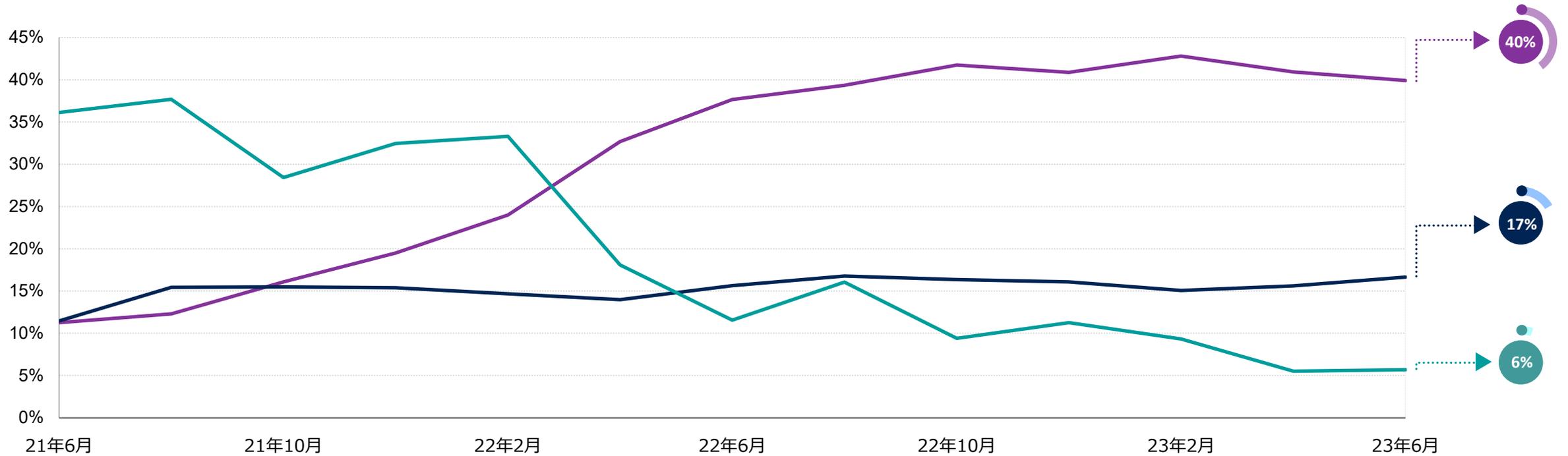


コロナウイルス

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、21,310人。2023年5月26日～2023年6月9日調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

世界の懸念事項：長期トレンド（インフレ、気候変動、コロナウイルス）



インフレ

気候変動

コロナウイルス

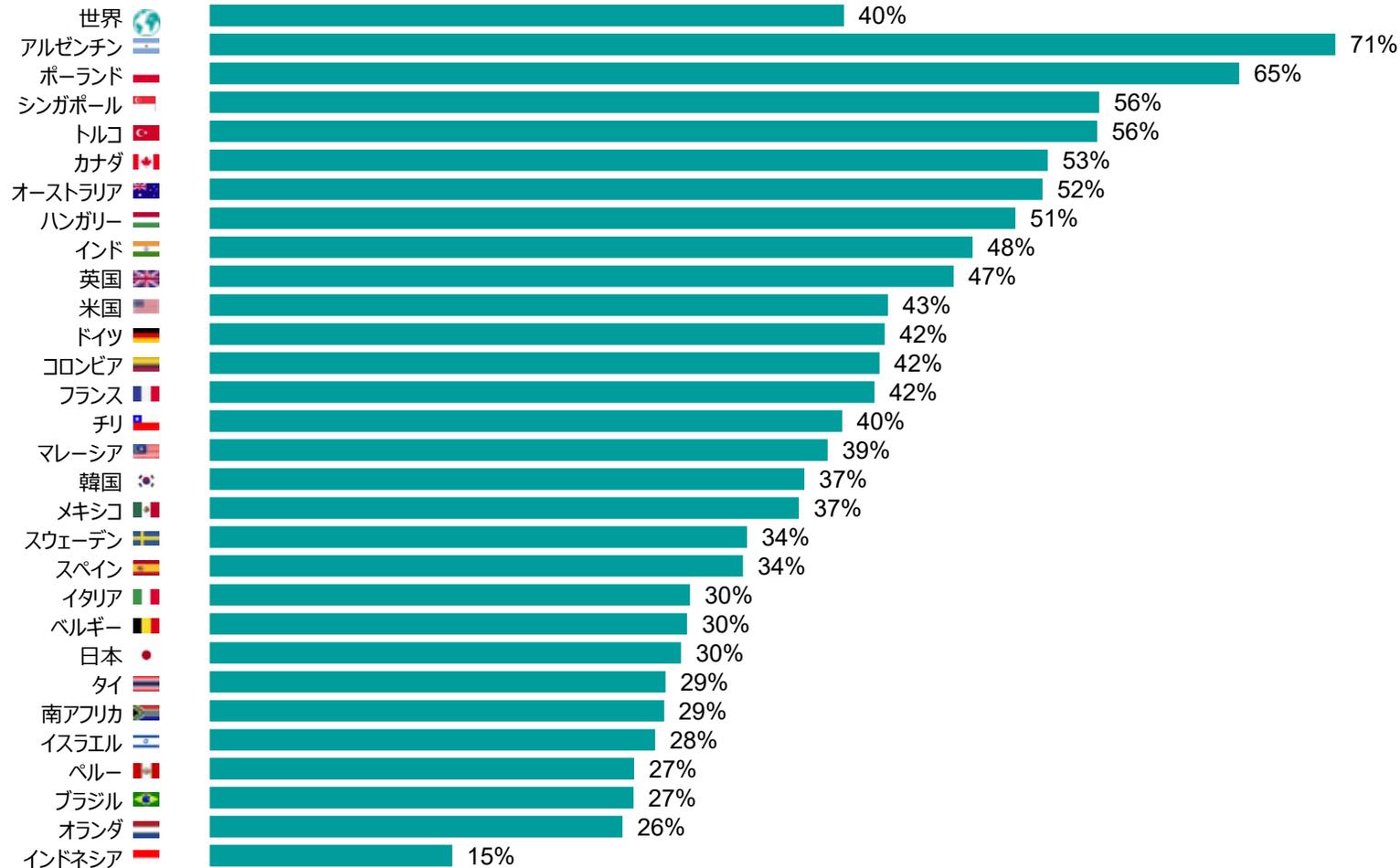
ベース：2021年6月～2023年6月、参加29カ国の16～74歳の成人約21,310人の代表サンプル
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。「コロナウイルス」は2020年4月から採用。

11 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



1 | インフレ

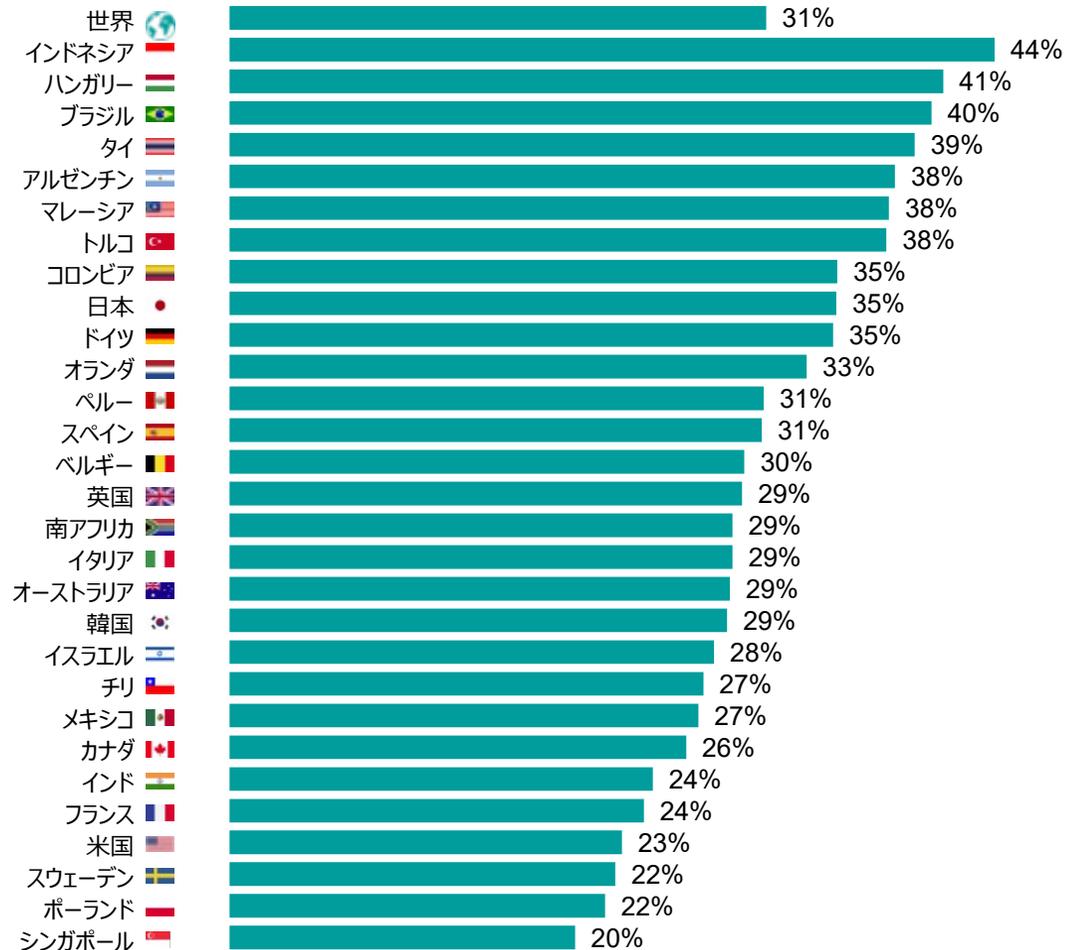


インフレが自国に影響を及ぼす最重要問題のひとつであるとの回答は40%で、1ポイント減少しました。2023年2月が43%と最も高い水準でした。それ以来、非常にゆるやかではあるものの、減少を続けています。

先月のアルゼンチンは、本調査で過去最高のインフレ懸念を記録しました。今月は5ポイント下がって71%となっています。チリ(40%)も先月から5ポイント減少しましたが、一方でコロンビア(42%)は5ポイント増加しています。

アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、英国、インド、ポーランド、シンガポール、米国、トルコの11カ国では、インフレが最大の懸念事項となっています。これは先月と同じで、コロンビアのインフレは失業率と並んで1位になっています。

2 | 貧困と社会的不平等



貧困と社会的不平等は18項目中2位で、31%が自国の問題だと回答しています。

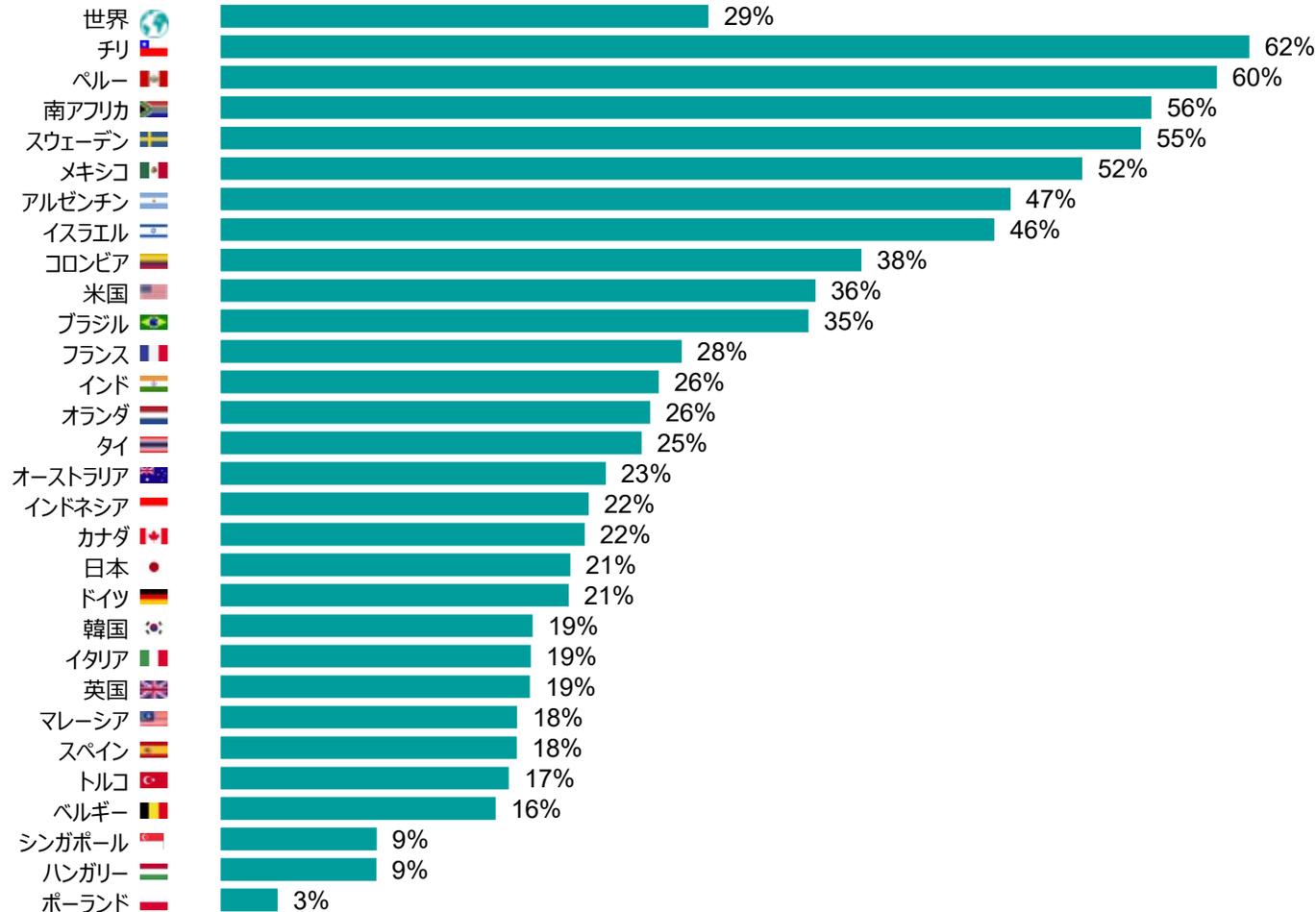
先月、不平等への懸念は2022年2月以来の低水準になりました。今月はわずかに1ポイント増えています。

5月に最も不平等を懸念していたのはタイでしたが、今月は6ポイント減って39%となっています。タイは前月4位だったインドネシア(44%)と順位が入れ替わっています。

ブラジル(40%)、日本(35%)、オランダ(33%)は、いずれも不平等を最大の懸念事項としています。

不平等への懸念が最も低いのはシンガポールです。とはいえ、関心度は5月から8ポイント増えて20%になっています。

3 | 犯罪と暴力



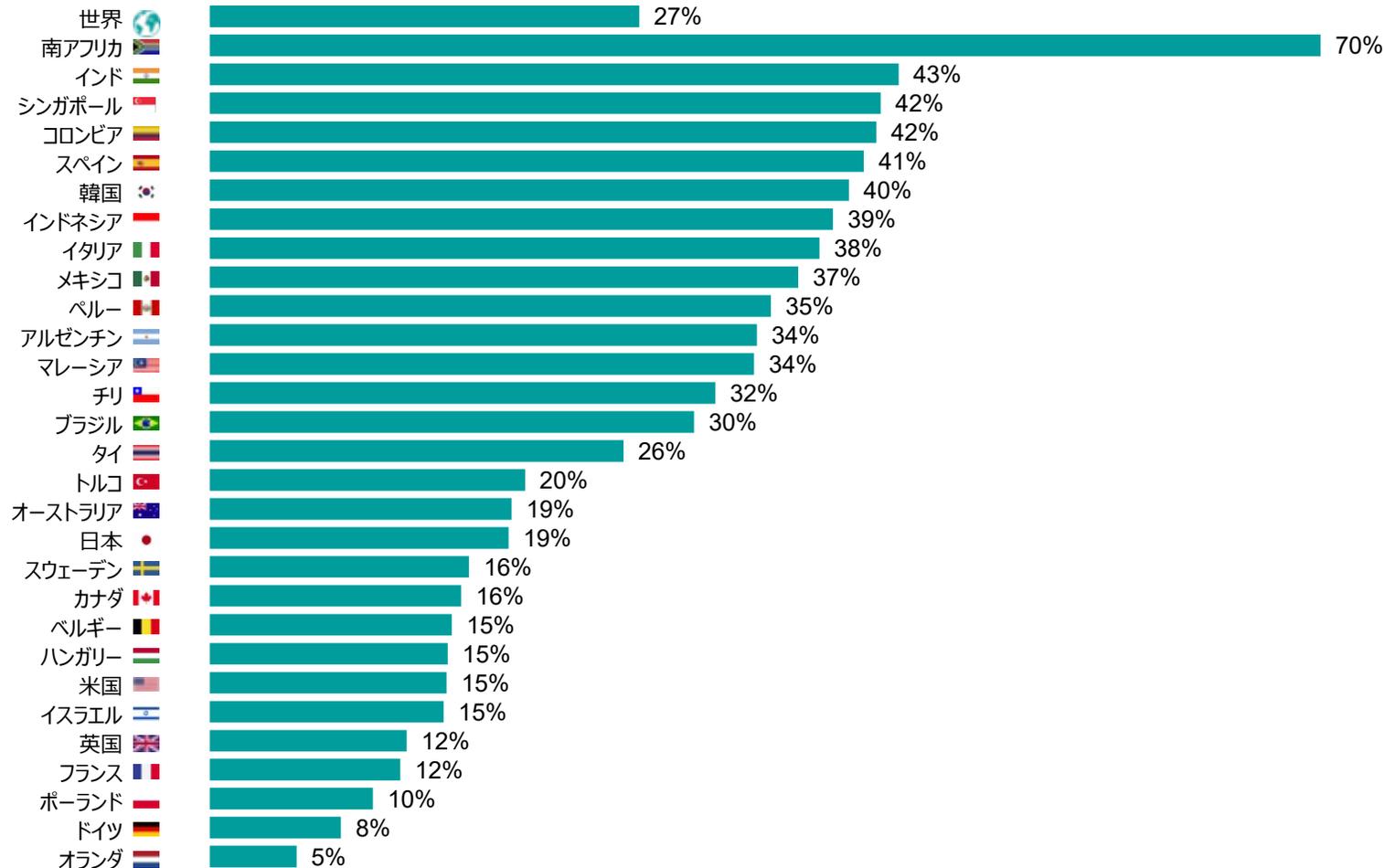
世界のほぼ10人に3人(29%)が、自国に影響を及ぼす最大の問題のひとつに犯罪と暴力を選んでいますが、先月と変わりません。

2023年6月、チリ(62%)は引き続き犯罪を最大の懸念事項としていますが、先月に比べ6ポイント減少しています。

南アフリカ(56%)は4ポイント減り、2位でなくなりました。代わりにペルー(60%)が2ポイント増えて2位になりました。一方、スウェーデン(55%)は5月から3ポイント増えています。チリと同様に、犯罪と暴力を最大の懸念事項としています。

イスラエルは現在、犯罪が自国にとって最大の懸念事項と回答しており(46%)、2023年5月から8ポイント増加しています。

4 | 失業



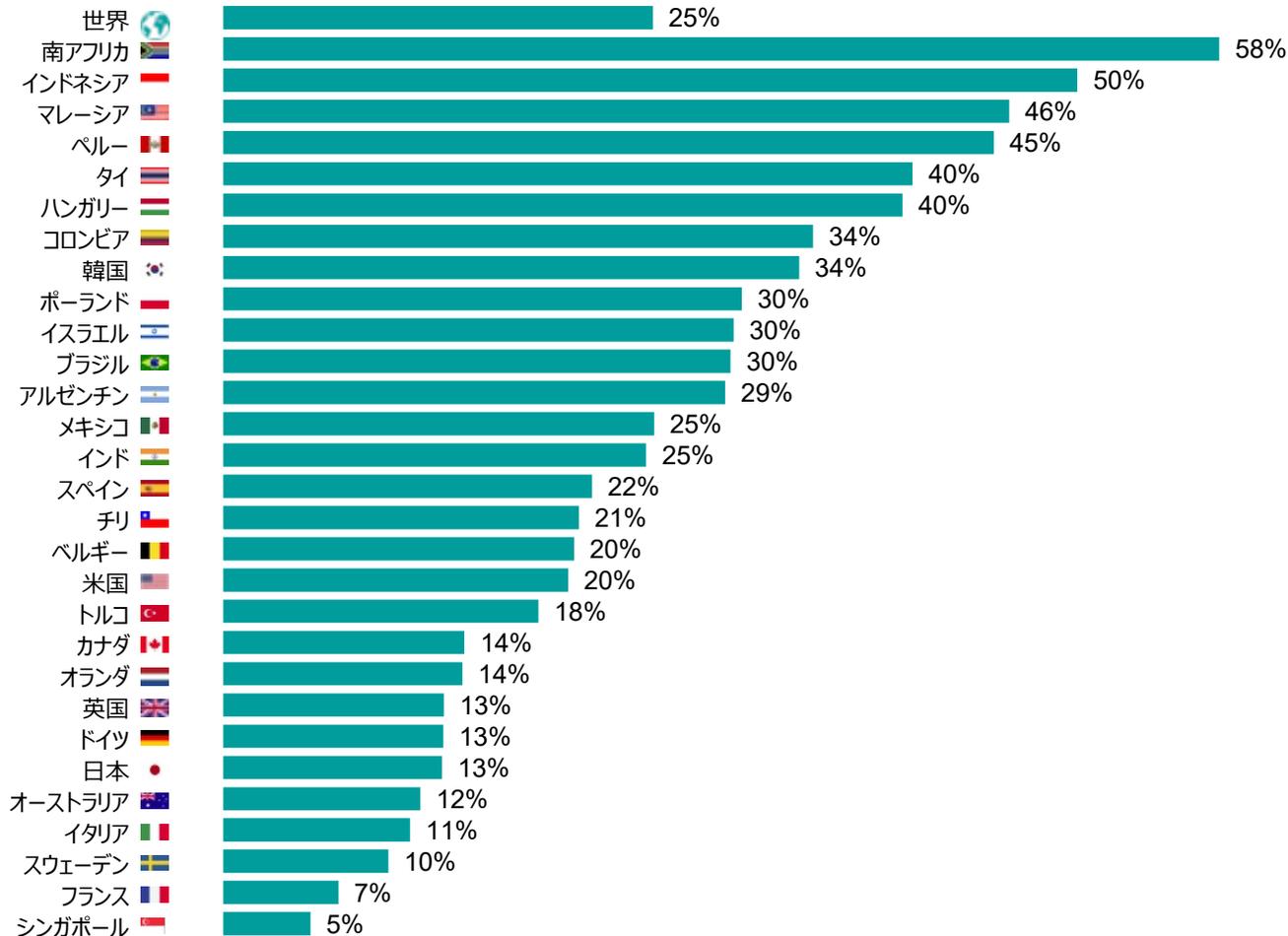
失業は、「世界が懸念していること」調査の4位で、27%が自国の問題として挙げています。これは金融・政治腐敗に対する懸念が減った結果と言えます。

南アフリカは2021年4月以来、最も懸念が強い国です。現在、10人に7人(70%)がこの問題を懸念事項として挙げ、2023年5月より2ポイント増加しています。本調査の中では、どの国よりも高い水準です。

懸念の強いその他の国々では、回答割合に減少が見られます。コロンビア(42%)は7ポイント減って、2位から4位に後退しました。インド(43%)は3ポイントの減少、スペイン(41%)は横ばいとなっています。

シンガポール(42%)の懸念は大きく7ポイント増えて3位になっています。

5 | 金融・政治腐敗



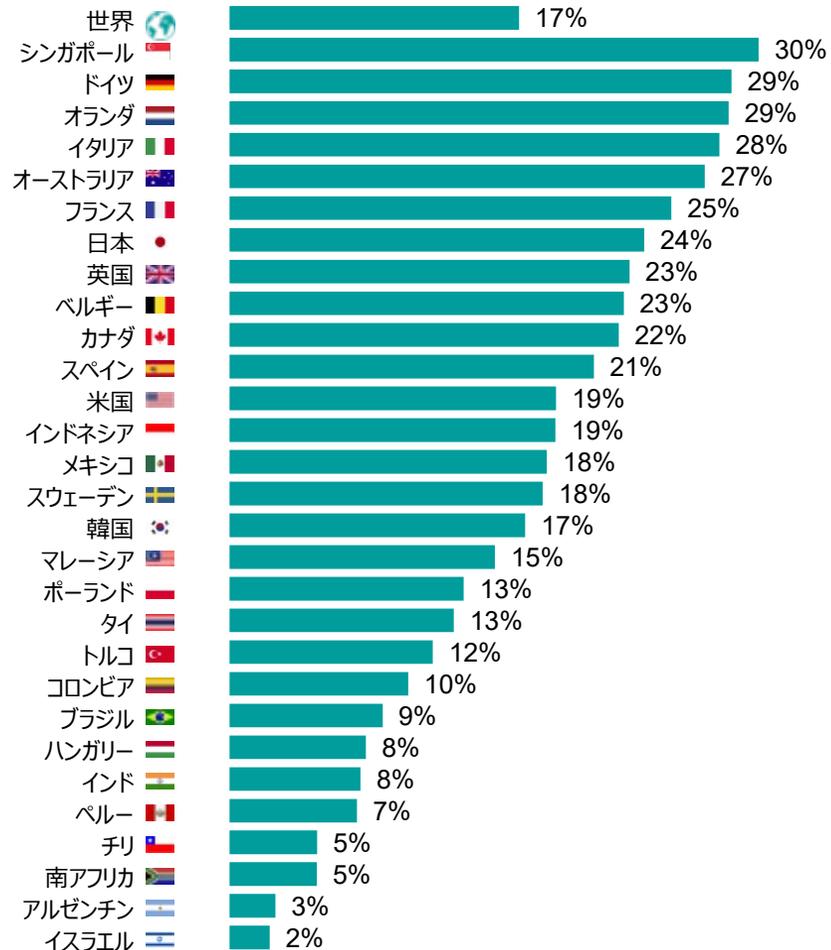
4人に1人(25%)が、自国の最重要課題の一つとして金融・政治腐敗を選んでいますが、今月は2ポイント減少しました。

インドネシア(50%)は、大きく16ポイント減少して、1位から2位に順位を下げました。それでもなお、この問題は国にとって最大の関心事となっています。ペルー(45%)も今月は大きく減少しました(-10ポイント)。

先月と水準は変わらず、今月もトップは南アフリカです(58%)。この結果、金融・政治腐敗と失業の両方でトップとなっています。

インドネシアと並び、マレーシア(46%)とタイ(40%)でも腐敗が懸念事項の1位で、タイは2ポイント増加しています。

7 | 気候変動



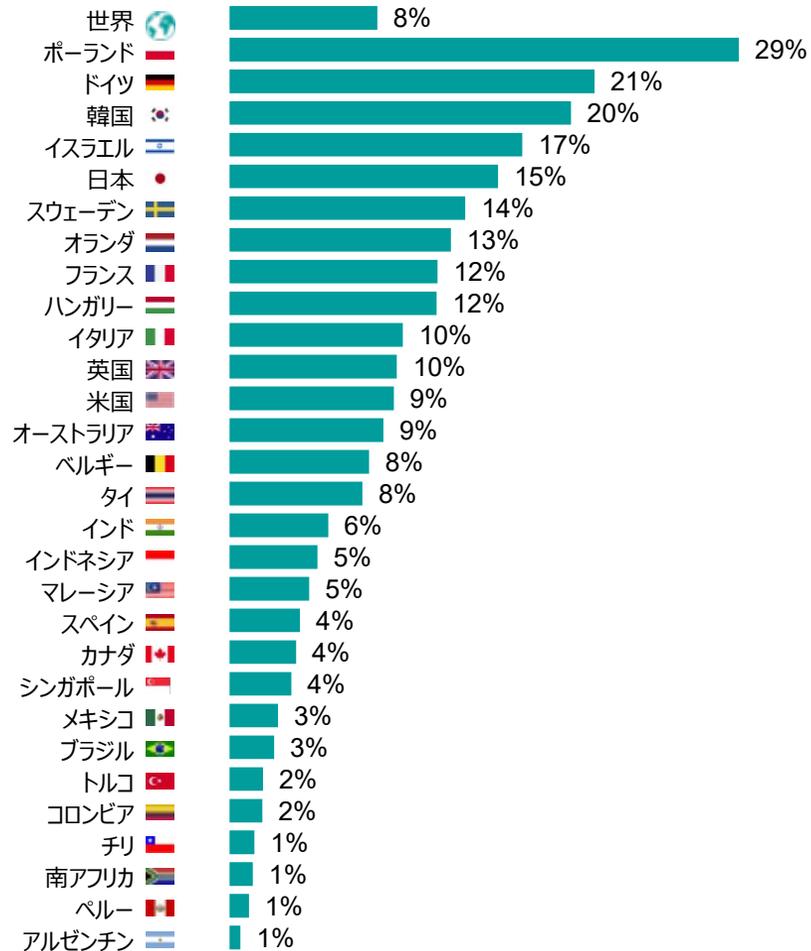
気候変動は、「世界が懸念すること」調査における18の世界的懸念事項のうち、医療と税金に挟まれた7位にランクされています。今月は1ポイント増加しました。

シンガポールは気候変動に最も関心のある国で、30%が気候変動を自国の問題として選び、前年比2ポイント増となりました。医療(31%)、失業、インフレに次ぐ、4番目の関心事です。

イタリア(28%)もまた、気候変動が4番目に大きな懸念事項で、2023年5月から5ポイントも増加しています。前回これほど高かったのは2022年8月でした。

先月はドイツ(29%)が最も懸念していた国でしたが、今月は2ポイント減少して2位となっています。

12 | 国家間の軍事衝突



国家間の軍事衝突は、モラルの低下と環境への脅威に挟まれ、世界的な懸念事項の12位にランクされています。

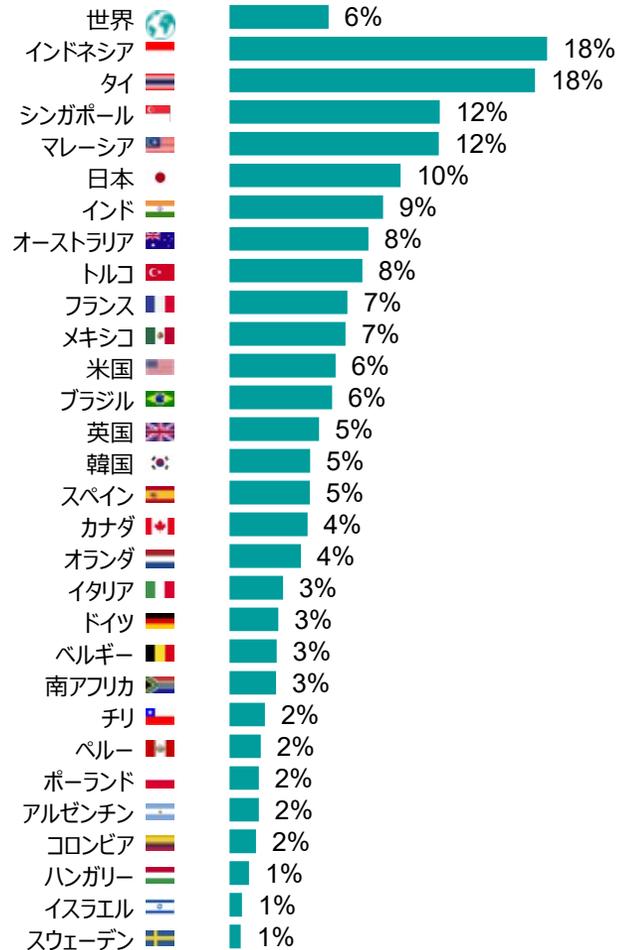
29カ国で1割弱(8%)が、軍事衝突を自国の問題として選んでいます。これは先月から1ポイントの減少です。

ポーランドは引き続き最も懸念している国で、ほぼ3人に1人(29%)が懸念していると回答しています。これは5ポイントの増加で、ポーランドでは4番目に位置します。

先月2位だったイスラエルでは6ポイント減少しました(17%)。日本(15%)も同程度減少しています(-5ポイント)。

ラテンアメリカは、世界で最もこの問題への関心が低い地域です。懸念が低い8カ国のうち6カ国が、この地域の国々で占められています。

17 | コロナウイルス (COVID-19)



18ある懸念事項のうち、コロナウイルスはソーシャルプログラムの維持とクレジットへのアクセスに挟まれて17位にランクされています。

29カ国で6%の人々が、自国の問題としてパンデミックを選んでいました。

2023年6月のグローバルスコアは前月と同じ水準ですが、年初よりも7ポイント減少しており、2022年のこの時期に比べ6ポイント減っています。

シンガポール(12%)は5月のスコアから14ポイントも大きく減少しています。これは3月の時点(10%)に近い数値です。

一方、インドネシア(18%)は大きく9ポイント増えて1位になりました。

上位6カ国はすべてアジア太平洋諸国となっています。

經濟的焦點

自国の経済状況

イプソスの「世界が懸念していること」調査と並行して毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査するものです。

以下のセクションでは、そのデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳しくは、イプソスの世界消費者信頼感指数の総合ポータルをご覧ください。

<https://www.ipsosglobalindicators.com/>

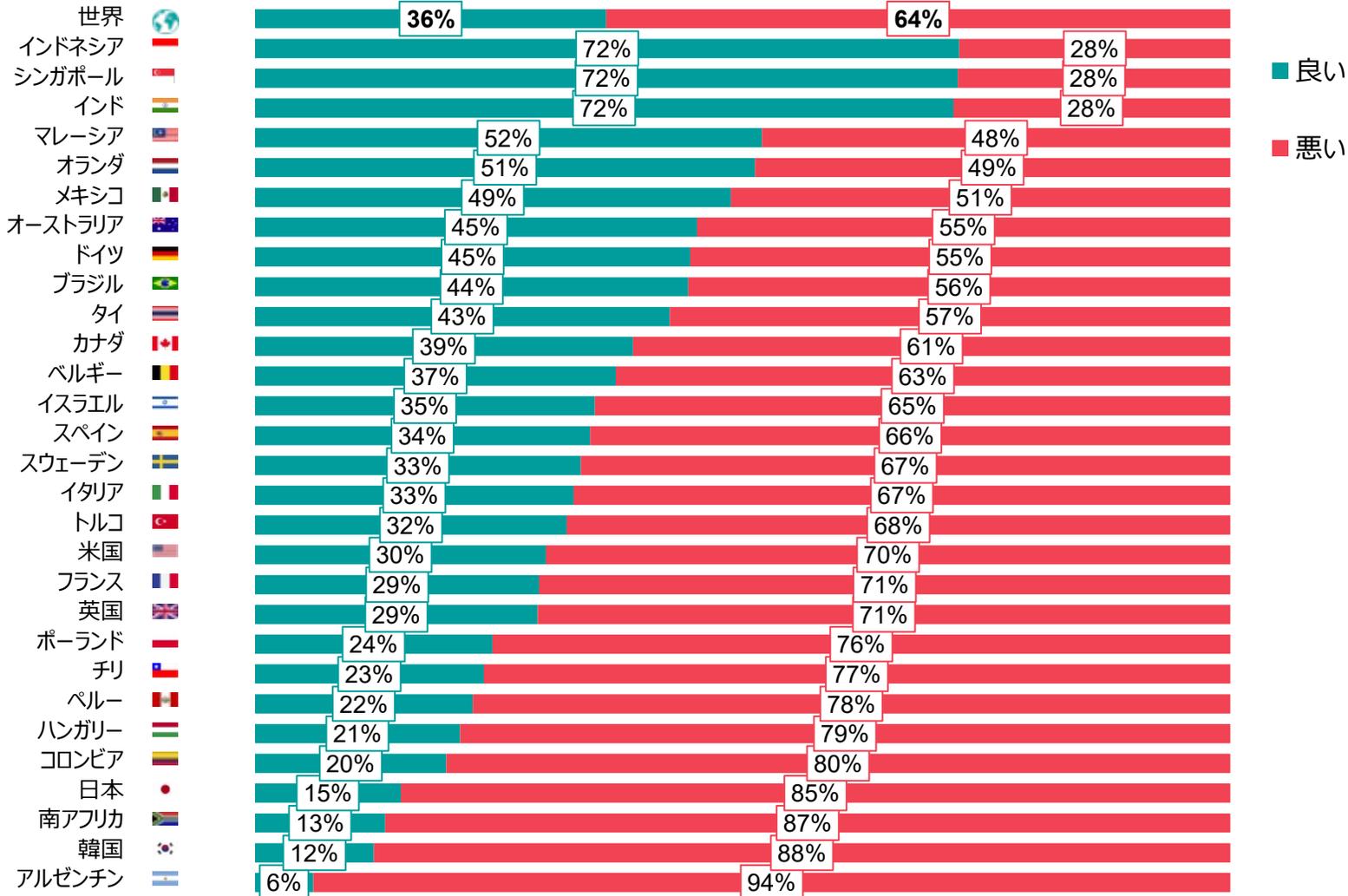
詳細は、Nicolas.Boyon@Ipsos.com までお問い合わせください。



現在の経済状況

イプソス世界消費者信頼感調査における経済に対する意識の詳細やデータについては、[イプソス世界消費者信頼感指数ポータル](#)を参照のこと

Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？



29カ国全体では、自国の現在の経済状況を「良い」と回答した人は36%で、2023年5月より1ポイント増加しました。

インドネシアの「(経済が)良い」は9ポイント増え、シンガポール、インドと同率の72%となっています。

ブラジルも先月より9ポイント増加し、44%のブラジル人が現在の経済状況を「良い」と回答しています。

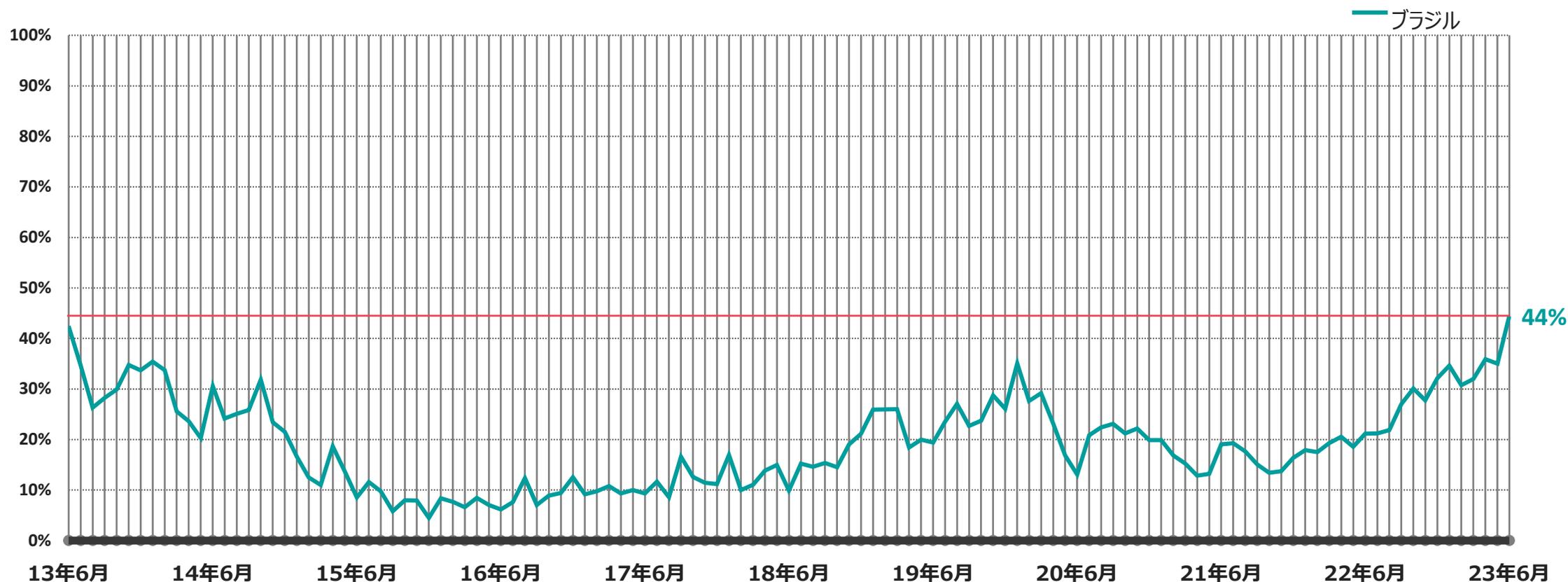
今月、2つの国で「(経済が)良い」が過去最高を記録しています。スペイン(34%)とイタリア(33%)です。

一方、イスラエル(前月比-8ポイント)、アメリカ、シンガポール(ともに-7ポイント)は、あまりポジティブではない状況です。

現在の経済状況：ブラジル

Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）

ブラジルは前月比では過去2番目に高い伸びを示したものの、過去最高を記録した66%(2010年10月)を22ポイント下回った。



ベース：ブラジルの16～74歳の代表サンプル、約1,000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

23 © Ipsos | What Worries the World

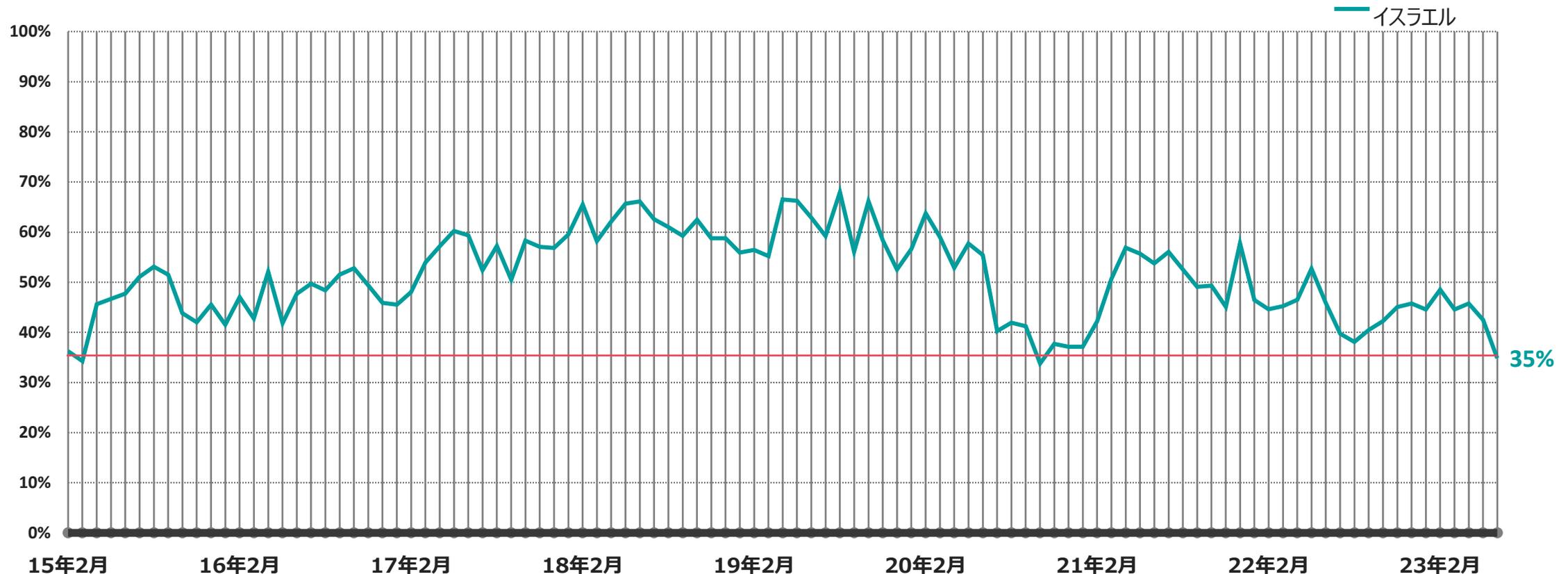
フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



現在の経済状況：イスラエル

イスラエルは過去最低だった「(経済が)良い」(2010年10月と2015年3月の34%)から1ポイント差になった。

Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：イスラエルの16～74歳の代表サンプル、約500人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

24 © Ipsos | What Worries the World

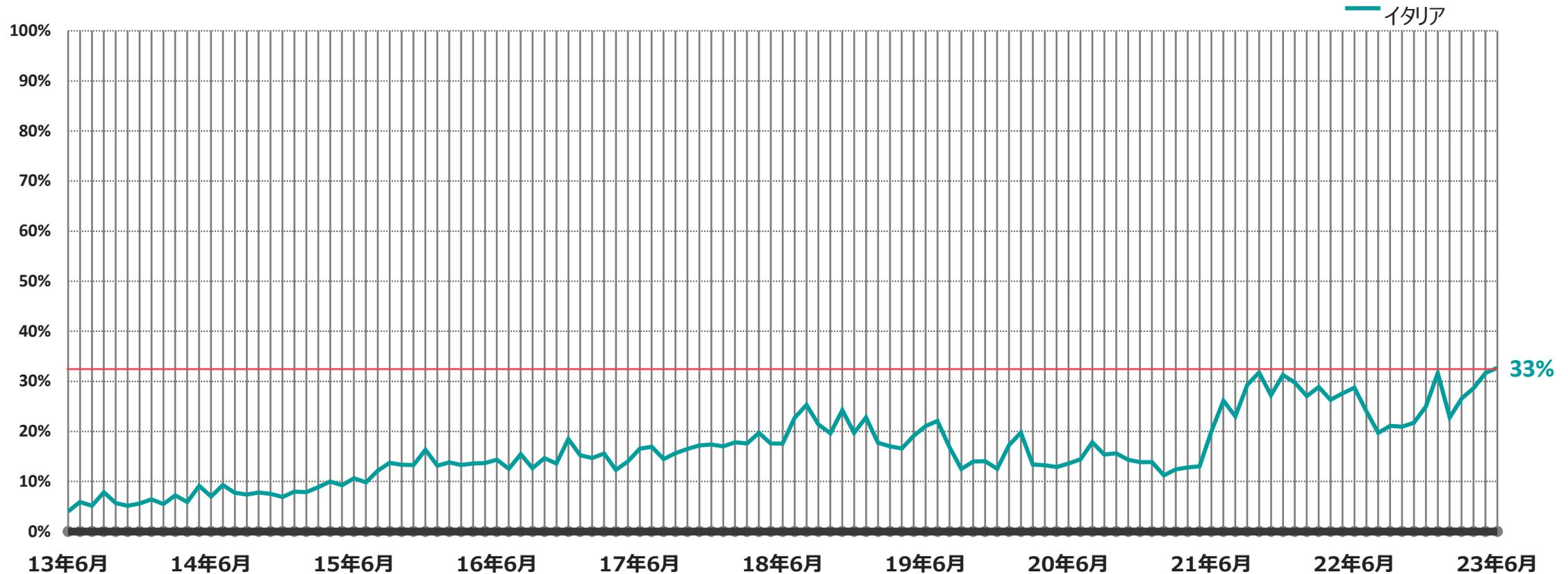
フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



現在の経済状況：イタリア

イタリアの「(経済が)良い」は、1ポイント上昇して過去最高となった。

Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：イタリアの16～74歳の代表サンプル、約1,000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

25 © Ipsos | What Worries the World

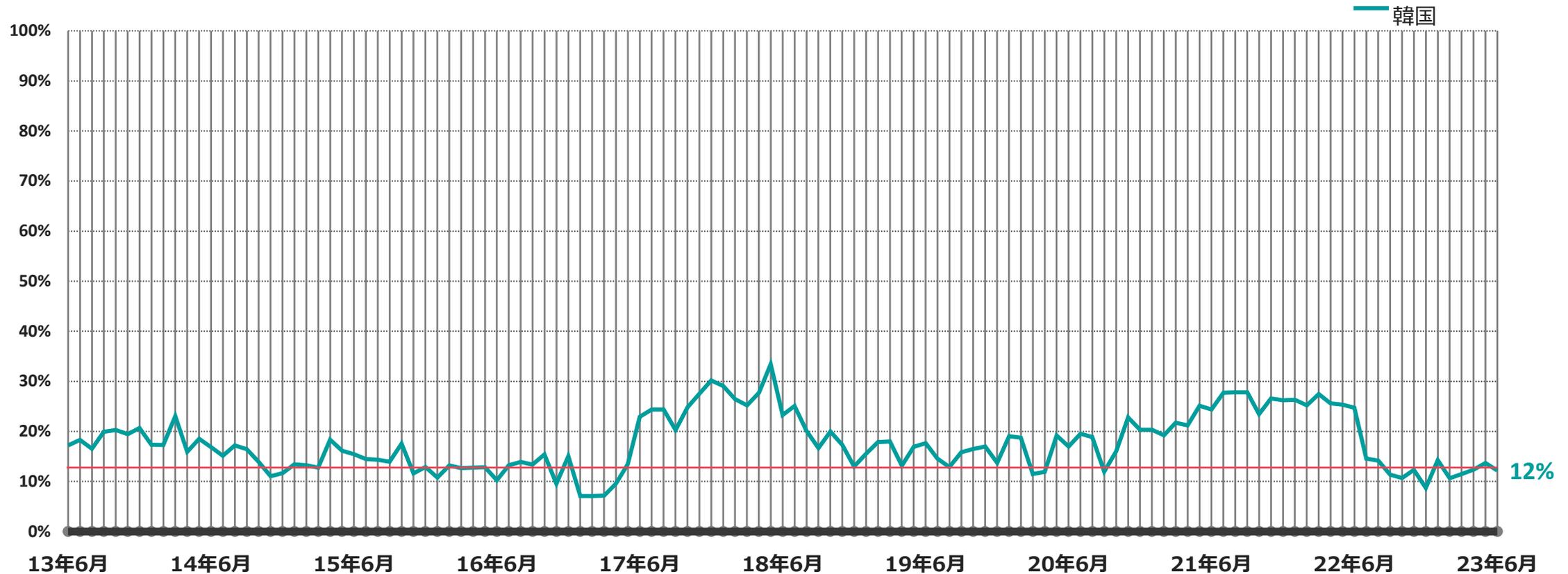
フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



現在の経済状況：韓国

韓国の「(経済が)良い」は、
12ヶ月連続して20%を
下回っている。

Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：韓国の16～74歳の代表サンプル、約500人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

26 © Ipsos | What Worries the World

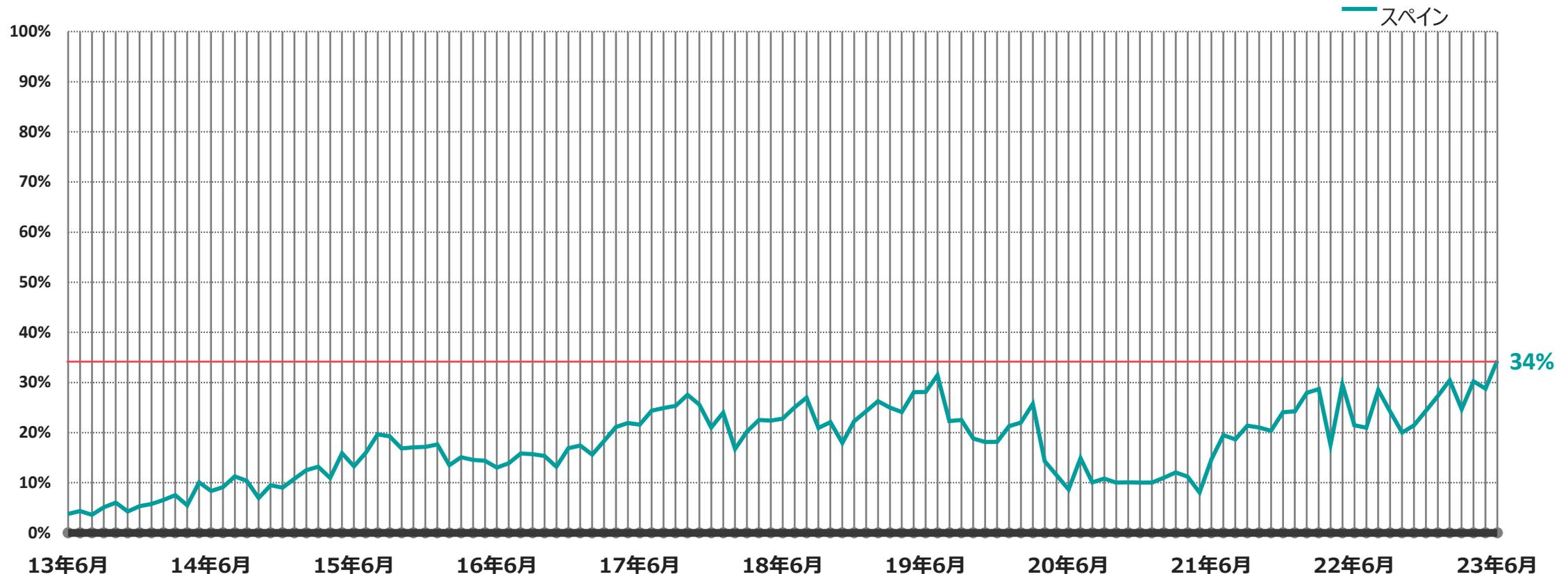
フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



現在の経済状況：スペイン

スペインの「(経済が)良い」は、前月から6ポイント上昇して2023年6月は過去最高となった(34%)。

Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：スペインの16～74歳の代表サンプル、約1,000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

27 © Ipsos | What Worries the World

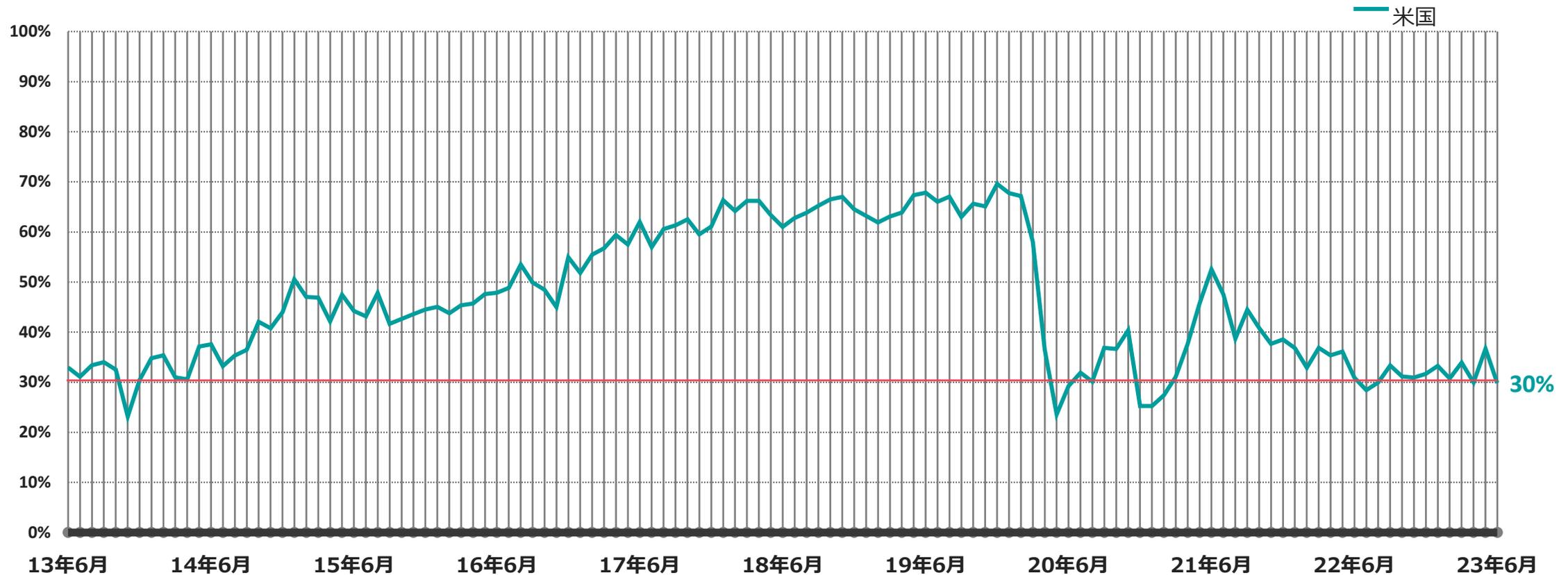
フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



現在の経済状況：米国

2023年6月、米国の「(経済が) 良い」は前月比で最大級の落ち込みとなった(-7ポイント)。

Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：米国の16～74歳の代表サンプル、約1,000人。2013～2023年調査。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

28 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 6月23日



調査方法

この29カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年5月26日から2023年6月9日にかけて、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、タイの20～74歳、インドネシアとシンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の、合計21,310人を対象に、イプソスのオンラインパネルシステムで実施された。

「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、イスラエル、日本、メキシコ、スペイン、スウェーデン、米国の各1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、インドネシア、マレーシア、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各500人以上からなる。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると思われる。

属性のバランスが取られ、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、1,000人の世論調査の精度を±3.5%ポイント、500人の世論調査の場合は±5.0%ポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスが使用する信頼区間に関する詳細は、イプソスのウェブサイト参照のこと。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多または少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は現地の規則に従う。